

ポイント

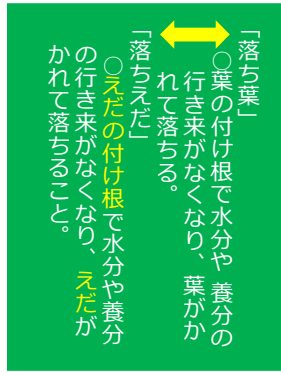
10段落では、「落ち葉」の仕組みを「『落ち葉』では、葉の付け根で水分や養分の行き来がなくなり、葉がかれて落ちます」と説明し、また「同じようなことが、えだの付け根でも起こっていたのでしょ

う。」と「葉」と同じ現象が「えだ」にも起こることを示しています。この文章では、一般的により知られている「落ち葉」の現象を説明することで、あまり知られていない「落ちえだ」現象を説明しているのです。

説明的な文章では、筆者は、説明する内容を「同等関係」、「因果関係」、「対比関係」といった関係を用いて、読者により分かりやすいように説明していきます。今回であれば、「葉」と「えだ」の対比によって、「落ちえだ現象」をより分かりやすく説明しています。

第5・6学年の「読むことウ」の指導事項は「目的に応じて、…必要な情報を見付けたり」となっています。そして学習指導要領解説では、必要な情報を見付けるとは、「情報を取捨選択すること」、「情報を整理すること」、「情報を再構成すること」であると示されています。

授業では、このような関係が出てきた際には、しっかりと情報を取り上げ、整理し、再構成する活動を取り入れることが必要です。



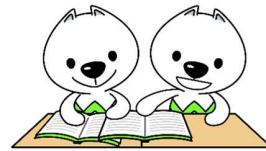
読むこと (説明的な文章)

△正答▽  
①えだの付け根  
②(栄養が)いきわたらなかつた) えだ  
△誤答例▽  
①葉の付け根  
②葉

落ちえだげんしようとは、(①)で水分や養分の行き来がなくなり、(②)がかれて落ちること。

(3) 「落ちえだ」げんしようについては、10段落を参考にしてください。  
(①)、(②)に入る言葉を、それぞれ本文中からぬき出して書きなさい。

4 第五学年  
目的に応じて文章を読み、必要な情報を取捨選択し、再構成することができる。〔第五・六学年 思判表 C(1)ウ〕



正答率 14.9%  
無解答率 8.9%

チャレンジ確認シート  
H31②1(1)(2) H30B③2  
国語マスター問題集  
小学校5年生⑨・⑯・⑰・⑱

チェック

5年光村図書 p.45 p.98  
5年東京書籍 p.78 p.142

言葉の特徴や使い方に関する事項

第五学年

1

ポイント

- 「修飾語」「修飾する」「係る」といった言葉を「国語の用語」として捉えさせるとともに、その用語の「意味・定義」を知識としてしっかりと定着させましょう。
- 修飾語のない文とある文を比較させ、修飾語の有用性を児童自身が実感できるように授業を構成しましょう。
- 学んだ知識は、その後繰り返し活用する機会をもつようにしましょう。(「修飾・被修飾の関係」は中学年で学習して以降、小学校では学習内容として取り上げられませんが、中学校では「文節」を学習する単元で取り上げられます。)

文と文との接続の関係について理解している。  
〔第五・六学年 知技(1)カ〕

正答率 22.0%  
無解答率 11.2%

第四学年

1

(5) 次の文の——線部の修飾語は、どの言葉に係っていますか。あとの1~4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

夜空に たくさんの 星が さらさらと かがやく。

- 4 3 2 1  
かがやく さらさらと 星が たくさんの

△正答▽4  
△誤答の傾向▽  
「2」を選んでいる誤答が多くみられました。

正答率 27.9%  
無解答 0.7%

修飾と被修飾の関係を理解している。  
〔第三・四学年 知技(1)カ〕



チャレンジ確認シート  
小4…R2③2(1)(2)  
小5…R1④4(2)  
国語マスター問題集  
小4…中学年④・⑯

△正答▽ 今日(けふ)は寒い(ひや)。(しかし、) 昼(ひる)すぎから  
△誤答例▽ 今日(けふ)は寒い(ひや)。(しかし、) 太陽(たいやう)が出た

今日(けふ)の天気予(あ)ほうで、今日(けふ)は寒(ひや)くなる(なる)と言(い)っていた(い)たので、コート(こーと)を着(き)て出(で)かけた(け)が、昼(ひる)すぎから太陽(たいやう)がき(あ)りてあ(あ)たか(あ)くな(な)った。

「しかし」に続く五字を書きなさい。

「しかし」という接続語の役割を捉えられておらず、二つの内容に分ける箇所を正しく理解していない解答、また、文を要約しようとした解答が見られました。授業では、自分が書いた文章を、文の長さに注目して読み返し、接続語を使って複数の文に分けて書き直していくといった学習を取り入れることが考えられます。その際には、接続語の役割を正しく捉え、適切に選んでいるかを確認するとともに、書き直す前と後の文を比べ、接続語を使った文の方が、伝えたいことがより明確になったという実感をもたせることが大切です。

どのように  
犬(いぬ)が わたし(わたし)に ゆっくり(ゆっくり)と 近(ちか)づく。

どのように  
ゆっくり(ゆっくり)と 犬(いぬ)が わたし(わたし)に 近(ちか)づく。

係り受けの関係を矢印等で示し、修飾・被修飾の関係を理解させましょう。

書くこと

第四学年

5

相手を意識した表現になっているかを確認、文を整えることができる。(第三・四学年 思判表 B(1)工)

(3) 中田さんは、「アドバイスのメモ」①を参考にして、自分の記事の最後に次の文を付け加えました。

わたしは、これから十分に注意して登下校しようと思います。

この文のあとに、「アドバイスのメモ」②を参考にして一文を付け加えることにしました。どのように書けばよいですか。次の「やくそく」を守って書きなさい。

「やくそく」

○ 付け加えた文に続くように書くこと。

○ 「アドバイスのメモ」②を参考にして一文で書くこと。

「アドバイスのメモ」

① 中田さんは、自分の感想を入れるといいと思うよ。

② 読み手に安全な登下校をよびかける言葉を入れるといいね。

正答率 34.3%  
無解答率 21.5%



チェック

4年光村図書 (上) p.62 (下) p.77  
4年東京書籍 (上) p.74 (下) p.128

チャレンジ確認シート H26A③  
国語マスター問題集 小学校中学年⑩・⑪

ポイント

文章を推敲するときは、目的や課題に応じた観点を設定することが必要となります。示す観点としては、言語事項に関する観点、そして書くことに関する観点が挙げられます。具体的には、取り上げた内容の妥当性、冒頭と結びとの一貫性、表現のよさや効果を確かめることなどがあります。

本問では、読み手に自分の伝えたいことをより強調して伝えるために、用いる語句や表現等を確認し整えることを求めました。

授業では、書く目的や意図に応じた文章構成や表現になっているかどうかについて、具体的に助言し合う活動を取り入れることが効果的です。助言するときには、修正すべき内容とともに、どのように書き換えればよいのかを具体的に伝えることが大切です。

また、推敲の観点は、当該学年の指導事項を外さないように注意しましょう。

△正答例▽  
みなさんも登下校中の安全を自分で守りましょう。  
みなさんも注意してください。  
△誤答例▽ (呼びかけず、理由や目的を書いている。)  
もし地域の人がいなくても、一人で注意できれば安全に帰れるからです。  
そのため手を挙げてわたったり、止まってくれた車に頭を下げたりもつと気をつけようと思う。

話すこと・聞くこと

第五学年

2

目的に応じて話し合いの観点を整理することができる。(第五・六学年 思判表 A(1)才)

(2) 「話し合いの様子」の司会④の発言の A に入る言葉を、十字以内で書きなさい。

司会④  
「手紙のよいところは、手書きだから、もうつたほうはうれいしい、気持ちがかもつている感じがする。」などで、

△正答例▽  
手間がかかる分  
手間がかかるので  
△誤答例▽  
工夫ができるので  
特別な感じを出せるし  
手間がかかっている

手紙	「ホワイトボード」
○手間がかかる。 ○うれいしい。 ○気持ちがかもつている感じがする。 ○工夫ができる。 ○手元に残る。	よいと思う理由

チェック

5年光村図書 p.96 p.128  
5年東京書籍 p.10 p.104

チャレンジ確認シート H26B① 1  
H30B① 1・2  
国語マスター問題集 小学校5年生⑩・⑪

正答率 35.2%  
無解答率 4.4%

ポイント

前後の文のつながりについては、意識できている解答が多く、発言された提案や意見を整理するという点に課題がみられました。司会は、話し手の発言を受け止め、適切な観点を明確にしていくことが重要です。そのためには、司会には、まず発言内容をよく聞き、考えの中心となることを捉えることができるように指導することが大切です。さらに、複数の発言内容を聞き分け、考えの立場や見解を分類・整理するなどして、適切な観点を設定できるように指導することも大切です。各教科等との関連も図りながら、児童全員が司会の役割を経験する機会を設け、具体的に指導できるようにしましょう。

国語科の授業づくりのポイント

- ①教材に即した指導事項(資質・能力)を設定しましょう。
  - 教科書会社が設定している指導事項を確認する。
  - 児童の実態に応じて、習得が不十分な指導事項を取り上げることも考える。
  - 指導事項の重点化を行い、1教材・1時間で指導すべき指導事項を精選する。
- ②到達すべき児童の姿(目標)を具体的に設定しましょう。
  - 「どのような姿」になれば、「その資質・能力を身に付けられたと言えるのか」を具体的に設定する。「どのような姿」は指導要領解説を確認する。
- ③「言葉による見方・考え方」を働かせる言語活動を設定しましょう。
  - 「言葉による見方・考え方」…対象と言葉、言葉と言葉との関係や、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりすること。
  - (例) 言葉と言葉を比較してみる。言葉の順序について考えてみる。
  - 言語活動が目的化しないように注意する。
  - ⇒言語活動を通して、指導事項を指導する。

国語科の目標…言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

